



伊藤公記念公園・神社 歴史散策コース (光市)

知っ得情報！ 伊藤公記念公園

- ・ 駐車場：有り
- ・ トイレ：有り
- ・ 所在地：光市東荷
- ・ 距離：初級コース 約3.2 km

今回は、健康づくりセンター発行の「けんこうウォーキングマップ」で紹介している、「伊藤公記念公園・神社コース」を歩きました。

今年は、初代内閣総理大臣 伊藤博文公 没後100年を迎え、光市では様々な記念事業が行われています。

明治政府の中心人物として活躍した伊藤博文の生誕地「東荷(つかり)」を歩きます。

■伊藤公記念公園・神社コース

「けんこうウォーキングマップ」では、初級・中級・上級の計3コースをご紹介しますが、今回は一番短い初級コースを歩きます。

スタート地点である「伊藤公記念公園」は、大きな看板も設置されており、すぐに見つけることができました。駐車場は大きな「旧千円札」が目印です。

車を停めて、マップを片手に出発です。歩道が広いので歩きやすかったですよ！



交差点に到着しました。

そばに「一里塚」と思われる石の標識があります。風雨にさらされ、かなり字が薄くなって見えにくいのですが、「東 田布施へ二里半 柳井へ四里 岩國へ七里」の字が読めました。

大きな道路の側に旅行者の目印として設置された一里塚。当時の旅人たちは、これを目安に歩いていたのでしょうか。

現代は目印となる建物等も多く、一定間隔ごとに標識も設置されている上に、ナビゲーションシステムを使えばまったく知らない道でもスムーズに目的地までたどり着ける便利さをあらためて痛感します。



大きい交差点に着いたところで視線を左に送ると、東荷小学校の入り口付近に石碑が見えました。「三隅塾跡」と刻まれたこの石碑は、伊藤博文が幼少時に学んだ寺子屋跡だそうです。自然に囲まれたこの地が自由な発想を育くみ、世界を見据える目を育てたのでしょうか。

元の道に戻り、しばらく歩くと神社に到着。かわい表情の狛犬が迎えてくれました。本殿までは見上げるほどの階段を上らなければならないため、参拝は断念しましたが、足腰に不安のない方はチャレンジしてみてください。

ウォーキングコースは神社で折り返し、三隅塾跡そばの交差点から左の脇道へ入ります。左右に道が分かれているところがいくつかありますが、右へ進んでいきます。

車を停めた駐車場が見えてきたら、ゴールは目前です！

駐車場の横に設置された休憩場で一服して、伊藤公記念公園へ向かいます。



神社へはこの白いガードレールを目印に左へまがります。



東荷神社です。参道をすすんでいくと、目の前にかんりの段数の階段が待ち構えていました。

交差点を右にまがり、「東荷神社」を目指します。

■伊藤公記念公園

せっかくなので、伊藤公記念公園を散策しました。

園内には、旧伊藤博文邸や資料館、生家等が配されており、遊歩道が整備された「伊藤公の森」もあります。

いちょうやもみじ等の美しい紅葉を楽しみにしていましたが、かなり落葉しており、かわりに美しい「いちょうの葉の黄色い絨毯」を楽しむことができました。

リフレッシュ重視で歩きたい方には、園内散策がお勧めです。



今回歩いたウォーキングコースは、初級コースということで約3.2 kmと距離は短めでしたが、適度なアップダウンもあり、伊藤公記念公園内の散策とあわせると十分満足できるコースだと思います。

“自然”と“歴史”を感じながら、歩いてみてはいかがですか？

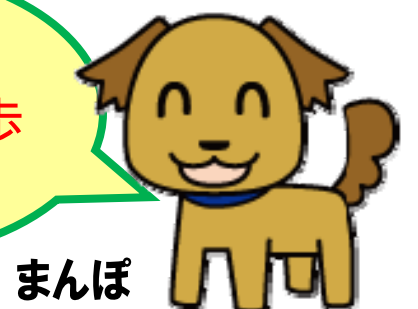
もっと長い距離を歩きたい！という方は、中級コース・上級コースもどうぞ！

また、公園入口に光市内の観光案内図が設置されているので、少し足をのびたい方はご利用ください。

約1時間歩いて

6,066 歩

でした！



まんぼ